

LEDバックランプ／リヤフォグランプ（ベゼルタイプ） 取付要領書

適合：汎用

このたびは、ジャオスの商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書は「LEDバックランプ／リヤフォグランプ（ベゼルタイプ）」の取り付けについて記載してあります。
商品を取り付けるまえに必ずお読みいただき、正しく取り付けを行ってください。

商品の取り付けには危険を伴う場合がございますので、専門知識を有する自動車用品販売店
または自動車整備工場での取り付けを推奨します。



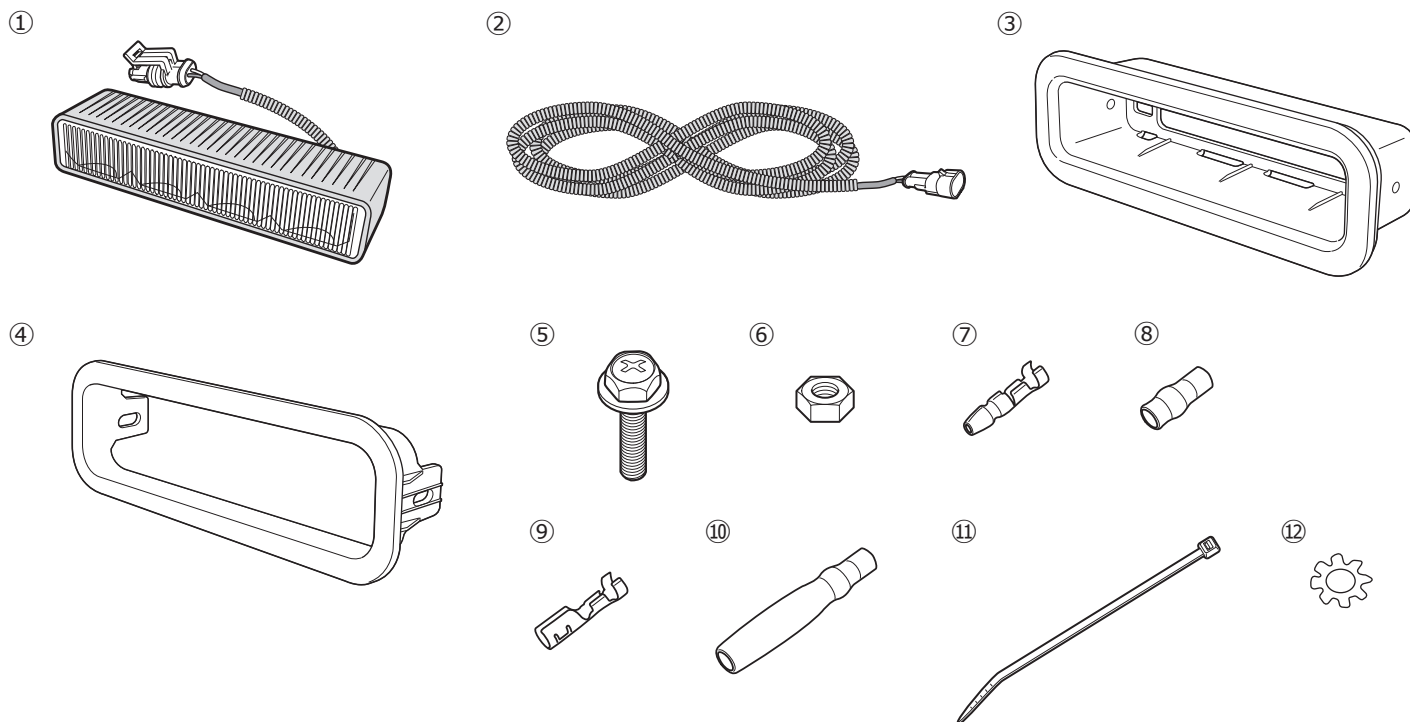
商品の取り付け完了後、本書を必ずお客さまにお渡しください。



取付参考時間：1.0時間

構成部品

※商品を取り付けるまえに商品の状態（破損や故障）と付属品の有無をご確認ください



■ 取り付けに必要な工具

- ☐ 一般工具 ☐ 保護シート ☐ 保護テープ ☐ 養生テープ ☐ マスキングテープ ☐ 軍手 ☐ 超音波カッターなど
☐ 丸・平やすり

No.	品名	個数	No.	品名	個数
①	LED ランプ	1	⑦	ギボシ端子（オス）	2
②	ランプ電源ハーネス	1	⑧	ギボシスリーブ（オス）	2
③	カバー A	1	⑨	ギボシ端子（メス）	2
④	カバー B	1	⑩	ギボシスリーブ（メス）	2
⑤	フランジ付き六角アプセットボルト	2	⑪	結束バンド	5
⑥	六角ナット	2	⑫	ワッシャー	2

取り扱い上のご注意

この取付要領書で使用している表示の意味と内容

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、生命の危険または重大な障害を負う可能性がある内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、事故による障害を負う可能性または物的損害が想定する内容を示しています。
-  **アドバイス** この表示は効率よく作業を行うために知っていただきたい内容を示しています。

商品は改良のため仕様および形状などを予告なく変更することがあります

取り付け作業を行うまえに

-  **警告** ●取り付ける車両の安全を確認・確保してください。
-  **注意** ●取付要領書を必ずお読みください。

安全に作業を行うために

-  **注意** ●純正部品の脱着は当該車両の修理書にしたがい作業を行ってください。
●製品は丁寧に扱ってください。
●作業に適した服装で作業を行ってください。

取り付けについて

-  **警告** ●必ず既定の締め付けトルクにて締め付けを行ってください。
-  **注意** ●取り付け後には必ず取り付け確認と走行テストを行ってください。

使用上の注意事項

-  **警告** ●設計荷重の範囲内で使用してください。
-  **注意** ●定期的な点検を行ってください。
●薬品などの付着に注意してください。
●路面とのクリアランスや環境変化による走行には十分ご注意ください。

中古品の売買および譲渡や廃棄について

-  **注意** ●同じ商品でも販売時期や仕様変更などにより内容が異なる場合があります。
●商品や付属品が正確に判別することができない場合、お問い合わせに対しての回答内容は保証いたしかねますのでご了承ください。
●商品に不具合が生じている場合はお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。
-  **アドバイス** ●商品の破棄は専門家に相談してください。

保証について

- 初期不良の保証…お届けから1週間以内
商品の破損、不具合などトラブルがあった場合、初期不良の保証対象として修理、代品交換、返品を承ります。
- 製品保証…弊社オリジナル商品はご購入より1年間 ※ただし、期間内でも走行距離20,000kmまで
初期不良に該当する場合や一部消耗品を除き、購入履歴をお調べし規定に従い保証いたします。

 保証についての詳細はJAOSオフィシャルサイトをご参照ください。【保証について】 www.jaos.co.jp/support/policy



《後退灯（バックランプ）》として取り付ける場合は以下の条件に沿って灯体の位置・角度を決めてください

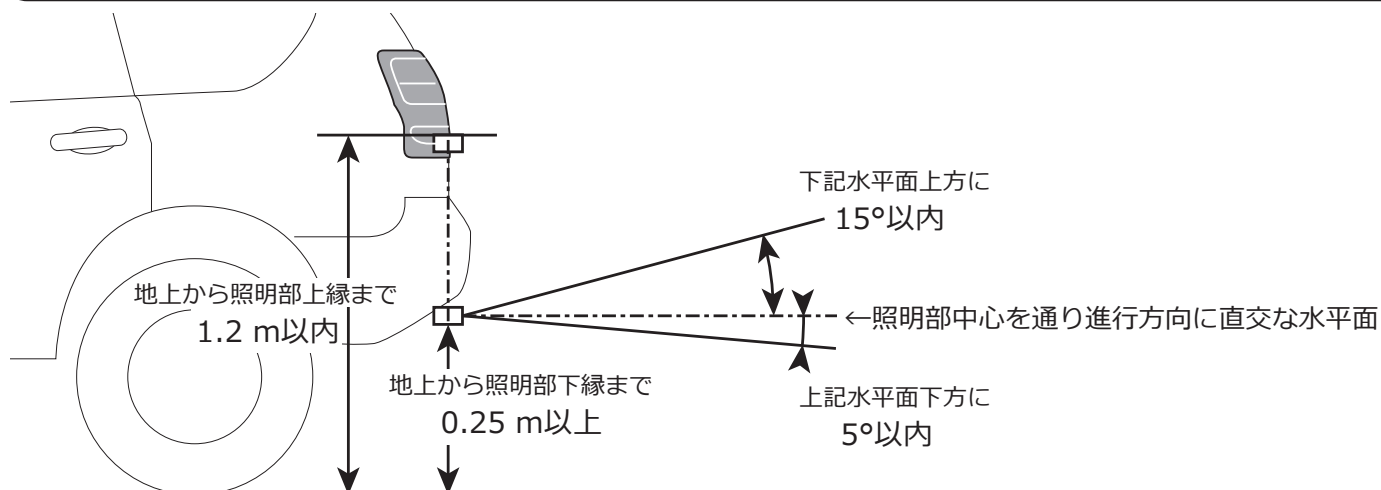
「全長が6 m以内の乗用車もしくは貨物車（定員9人以下）の場合の点灯可能な後退灯の数を最大2個まで」と法令で定められています。この法令に沿った取り付け位置・角度を基準にLEDバックランプを取り付けてください。

⚠ 注意 ●上記の取り付け条件に沿って取り付ける場合、既存の後退灯とは法令上併用ができませんので、既存の後退灯は必ず撤去してください。

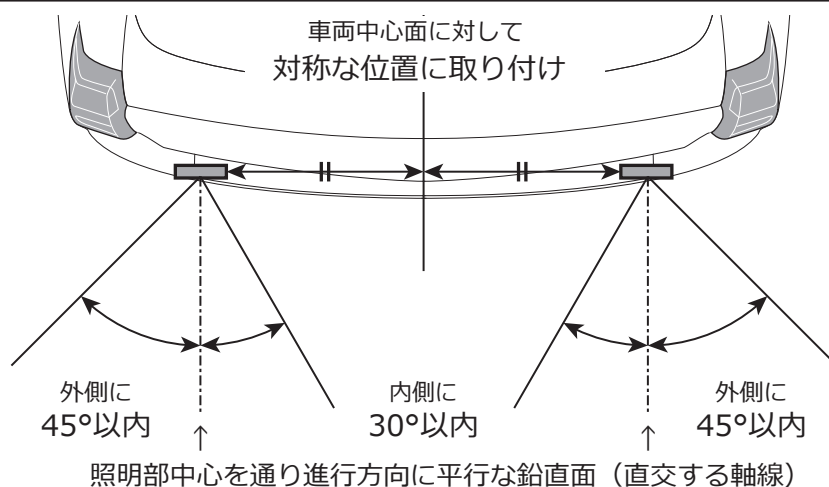
👉 アドバイス ●上記以外の車両への取り付け方法については道路運送車両の保安基準の細目を定める告示第214条及び独立行政法人自動車技術総合機構審査事務規定第7章90などを参考に取り付けを行ってください。

ただし、当製品を後退灯以外として取り付ける場合には、この限りではありません。

●車両側面から見た灯体の角度と位置

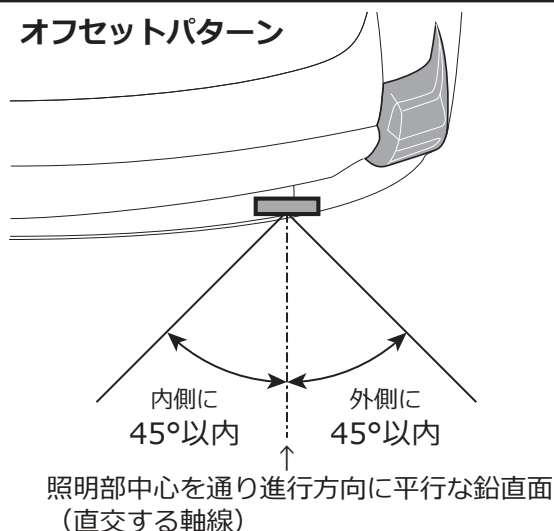


●車両後方上部から見た灯体の角度と位置（2灯の場合）

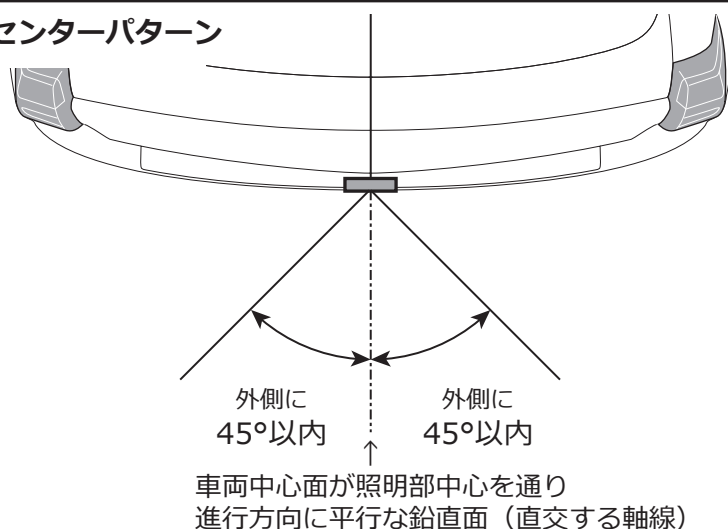


●車両後方上部から見た灯体の角度と位置（1灯の場合）

オフセットパターン



センターパターン



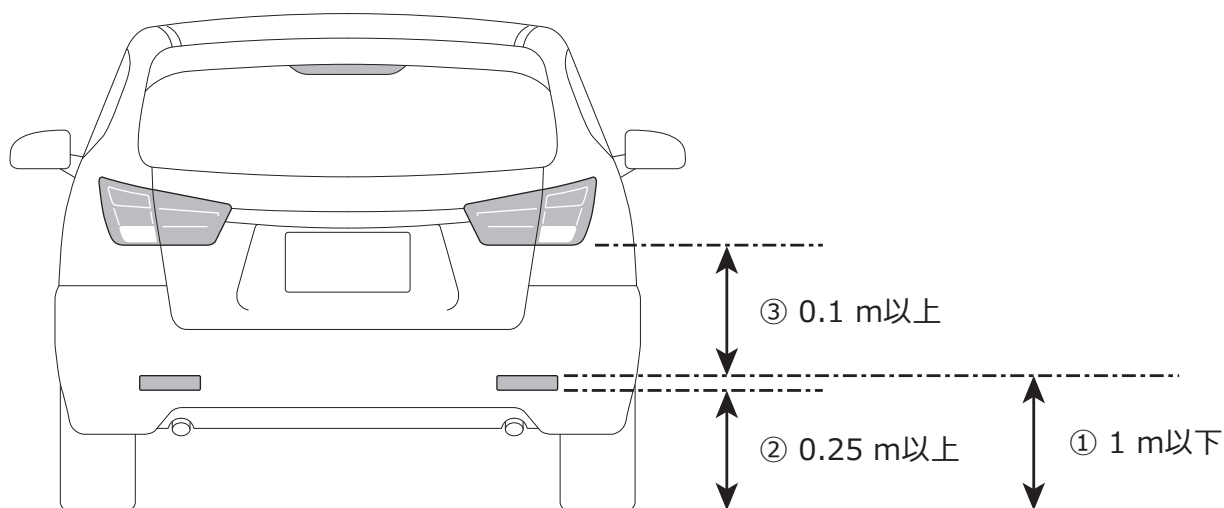
〈後部霧灯（リヤフォグランプ）を取り付ける際のご注意〉

後部霧灯(リヤフォグランプ)の装着につきましては、下記の注意内容を必ずご確認ください、保安基準を満たし安全に利用できるよう装着をお願いいたします。

■ 後部霧灯（リヤフォグランプ）について【平成17年12月31日以降に製造された車両の場合】

- ・ 灯光色：赤色
- ・ 個数：2個以下（1個の場合は、車両面中心か、右側に配置する必要がある）
- ・ 明るさ：35 W以下
- ・ 大きさ：140 cm²以下
- ・ 取付位置
 - ① 後部霧灯の取り付け位置は、地上1 m以下、0.25 m以上でなければならない。
また、その照明部は制動灯から100 mm以上離れてなければならない。（下図参照）
- ・ 点灯操作
 - ① 後部霧灯は前照灯(ロービーム)又は、前部霧灯(フロントフォグ)が点灯している場合のみ点灯できる構造であり、かつ、前照灯又は、前部霧灯のいずれかが点灯している場合においても独立して消灯する構造であること。
 - ② 後部霧灯の点灯操作状態を運転者に示す表示装置を備えること。
 - ③ 原動機(エンジン)を停止し、かつ運転者席のドアを開放した場合に後部霧灯の点灯操作装置が点灯位置にあるときは、その旨を運転者席の運転者に音により警報すること。
 - ④ 前照灯又は前部霧灯を消灯した場合にあって点灯しているときは、尾灯は点灯しており、かつ、尾灯を消灯した後、前照灯又は、前部霧灯を点灯した場合には、再度、後部霧灯の点灯操作を行なうまで消灯していること。
 - ⑤ 後部霧灯は点滅してはいけない。

● リヤフォグランプの高さ（取り付け位置）基準

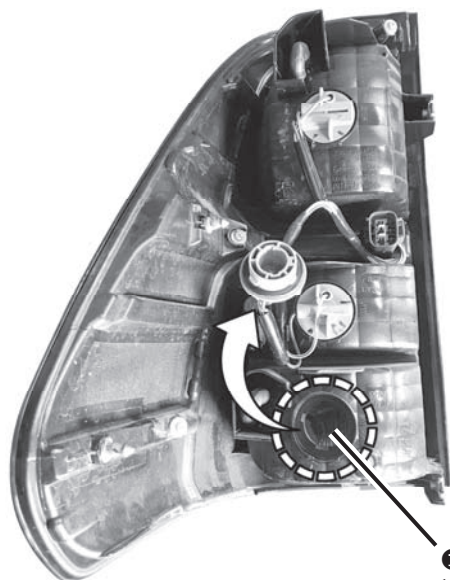


取付要領

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー ●数字は作業の順番を示しています

注意 この製品は「バックランプ」または「リヤフォグランプ」がもともと付いていた車両の移設キットです。増設や後付けを目的とした物ではございませんので、保安基準に従い正しく取り付けてください。

1. バックランプ灯体ソケット・配線の加工



① バックランプのソケットを取り外す

アドバイス 「リヤフォグランプ」を取り付ける場合は車両リヤフォグランプの配線を使用し、同じように作業を行ってください。

□コンビネーションランプ左右をユニットごとに取り外します。

アドバイス バックランプ単体の場合はバックランプごとに取り外します。法令上、異なる灯体同士の使用はできません。

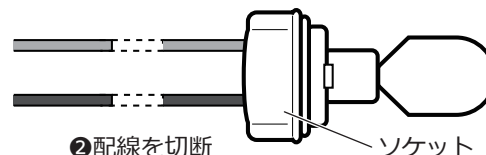
□バックランプのソケットをユニットから取り外します (①)。

□ソケットの配線を切断します (②)。

□供給側(車両側)の配線の極性(⊕/⊖)をテスターで確認します。

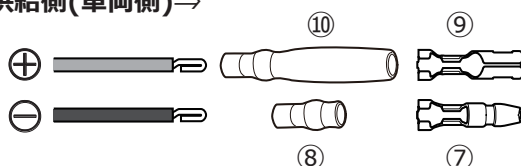
アドバイス テスターの片側をボディアース、もう一方を配線のどちらかにつなげて抵抗値を測り、導通していればマイナス⊖になります。

□配線を切断したソケットはユニットの穴をふさぐフタとして使用できないため、ユニットの穴は浸水しないよう防水処理をしてください。

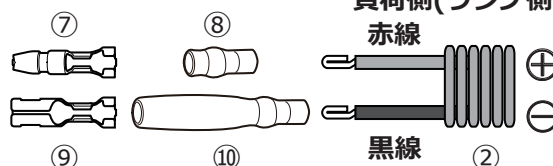


③ ギボシ端子とスリーブを配線に取り付ける

供給側(車両側)⇒



負荷側(ランプ側)⇒



□LEDランプ①の取り付け位置を決め、切断した車両側配線までの配線の取り回しを決めます。ランプ電源ハーネス②(2 m)が足りない場合は、市販の0.2 SQ程度の配線にて延長してください。

□ギボシ端子⑦⑨&スリーブ⑧⑩を上図のとおり取り付け、圧着します (④)。

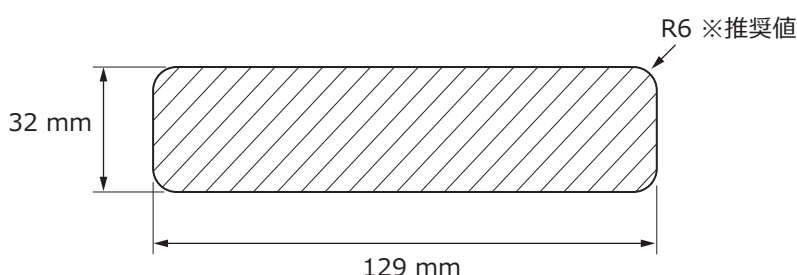
注意 供給側⊕は必ずメス端子⑨・メススリーブ⑩の取り付けを守ってください。誤って接続が外れた場合に短絡(ショート)する可能性があります危険です。

□車両にランプ電源ハーネス②を配索、固定します。

アドバイス ランプ電源ハーネス②が潰れたり、垂れ下がって車上へ露出したり、金属のエッジ部に掛かるような配策は避け、できる限り動かないように結束バンド⑪などを使用し固定してください。結束バンド⑪が足りない場合は必要に応じて市販品を購入し対応してください。

□ギボシ端子部を接続し、コンビネーションランプのユニットを車体へ取り付けます。

2. LEDバックランプの取り付け



□車両側の取り付け位置にマーカーペンを使用して左図の大きさでマーキングします。

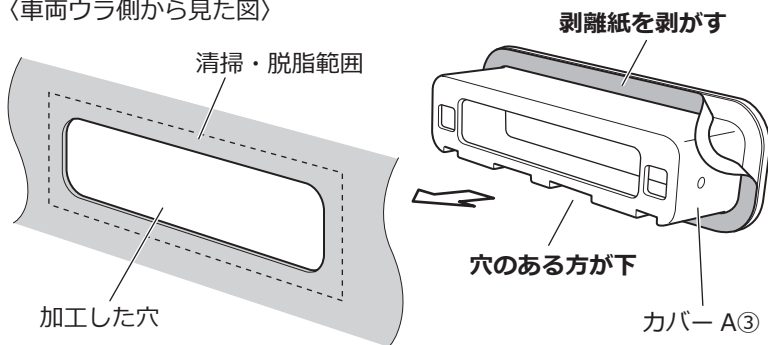
注意 取り付け位置は、極端な曲面や角が近いところを避け、できる限り平らな面に取り付けてください。

□マーキングした穴あけ位置を超音波カッターなどで切り取ります。

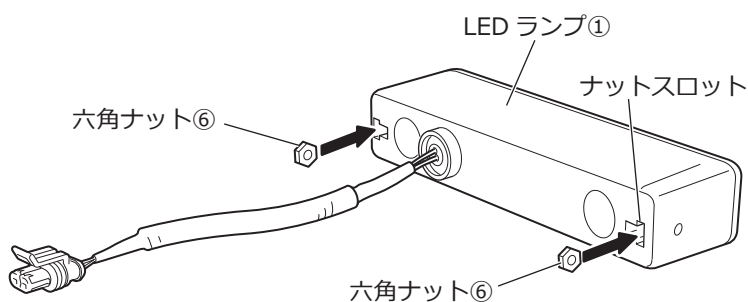
注意 穴あけ加工は部品を損傷しないよう十分に注意をしながら行ってください。

□丸やすりと平やすりで穴のふちにできたバリを取り除きます。

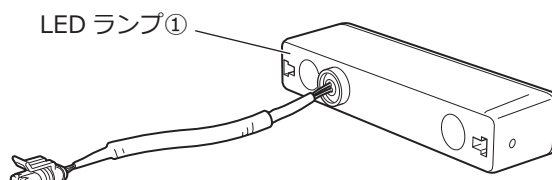
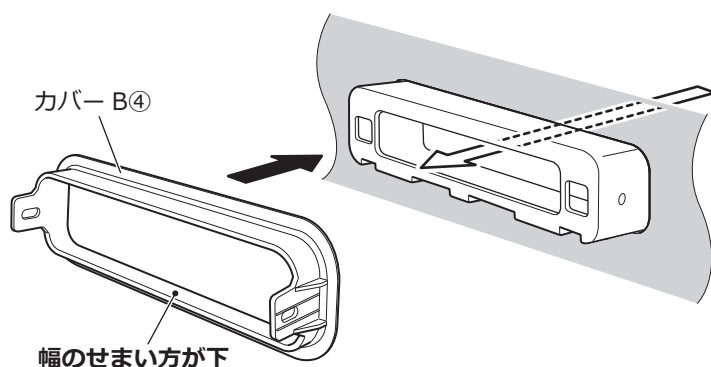
〈車両ウラ側から見た図〉



- 車両外側のカバー A③取付部を清掃・脱脂します。
- カバー A③の剥離紙を剥がし、加工した穴に車両外側からカバー A③を取り付けます。



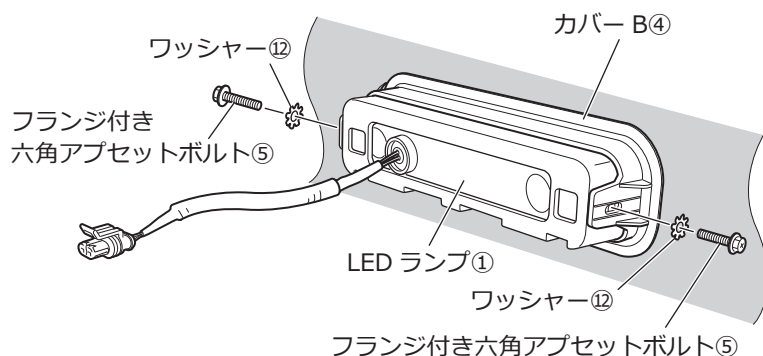
- LED ランプ①背面のナットスロットに六角ナット⑥を挿入します。



- 加工した穴に車両表側からLED ランプ①、車両ウラ側からカバー B④を取り付けます。

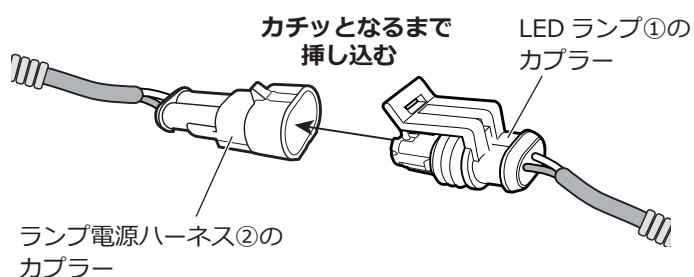
⚠ 注意 LED ランプ①に挿入した六角ナット⑥が、脱落しないように取り付けてください。

💡 アドバイス LED ランプ①は上下があります。表側のロゴが正しい向きになるよう取り付けてください。



- LED ランプ①とカバー B④を、ワッシャー⑫とフランジ付き六角アプセットボルト⑤で固定します。

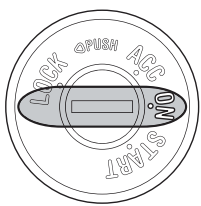
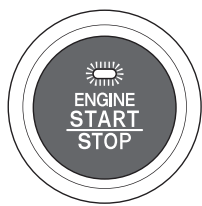
⚠ 注意 ボルトをあまり強く締め付けるとボルト穴が破損する可能性があるため注意してください。



- LED ランプ①とランプ電源ハーネス②のカプラーを接続します。

3. LED バックランプの点灯確認

「ON」状態にする



←「ON」位置に回す

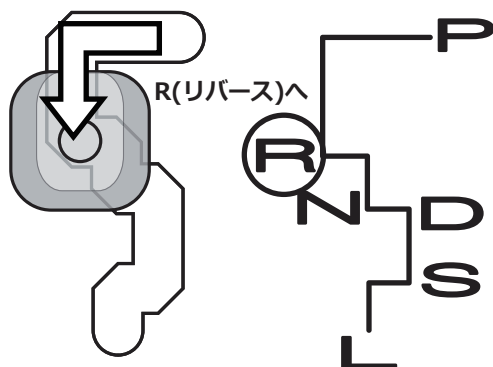
ブレーキペダルを踏まず「ON」にします

⚠ 注意 必ずパーキングブレーキを掛けた状態で作業を行ってください。

□イグニッションスイッチのポジションを「ON」にします。

⚠ 注意 エンジンには掛けません。

●オートマチックトランスミッション（AT）の確認方法



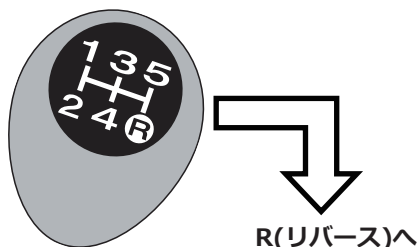
□ブレーキペダルを踏みながらシフトレバーのポジションを「R（リバース）」にします。

🔊 アドバイス 車種によって「シフトロック解除ボタン」を押さないとポジションをシフトできない場合があります。詳しくは車両の取扱説明書を参考に作業を行ってください。

□LEDバックランプの点灯を確認します。

□シフトレバーのポジションを「P（パーキング）」に戻し、イグニッションスイッチのポジションを「LOCK」または「STOP(OFF)」にします。

●マニュアルトランスミッション（MT）の確認方法



□シフトレバーのポジションを「R（リバース）」にします。

□LEDバックランプの点灯を確認します。

□シフトレバーのポジションを「N（ニュートラル）」に戻し、イグニッションスイッチのポジションを「LOCK」または「STOP(OFF)」にします。

取り付け状態の確認

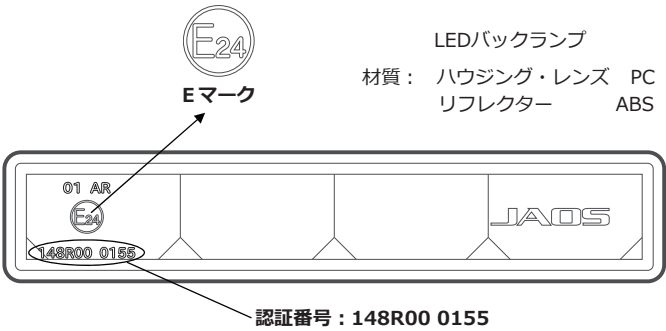
⚠ 注意 作業完了後は必ず取り付け確認を行ってください。ボルト類の締め忘れなどにより本体が脱落するおそれがあります。危険です。

【本紙は継続検査時に必要となる場合があります。車検証等と一緒に大切に保管してください】

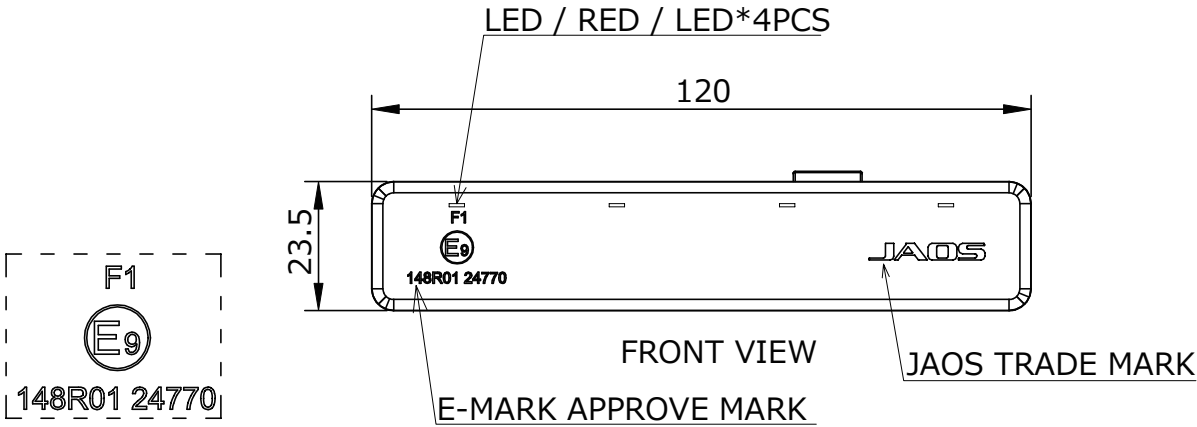
UN/ECE 部品認証取得製品

当部品は以下の内容で UN/ECE の認証を取得しています

部品名 : LED バックランプ			
UN/ECE レギュレーション、カテゴリー / 機能	モデルナンバー	認証番号 (装置型式指定番号)	消費電力 (w)
R148,AR/ 灯火信号装置 (LSD)	JS-212301-W-JAO	E24*148R00/03*0155*00	1.2



部品名 : LED リヤフォグランプ			
UN/ECE レギュレーション、カテゴリー / 機能	モデルナンバー	認証番号 (装置型式指定番号)	消費電力 (w)
R148 灯火信号装置 (後部雾灯)	JS253801	E9 148R01/04 24770	1.2



取り付け・使用上の注意事項



注意

- 本部品は12V、自動車用ランプとして設計・申請をしています。それ以外の用途での車両への適用・取り付けなどは行わないでください。
- 分解や改造を絶対にしないでください。
- 上記の消費電力は点灯させた際の回路基板の消費電力です。
- LED製品の特性上、明るさ、色温度などに若干のバラつきがある場合があります。製品の異常ではございませんので予めご了承ください。
- ハウジングとレンズの手入れは薬品（とくに有機溶剤、アルカリ剤、界面活性剤など）を多く含んだ物や、ガラスコーティング剤・パーツクリーナーなどは使わないでください。変質劣化や溶剤亀裂（ソルベントクラック）の原因となります。

